

SH型貫入試験機やデータロガーの取扱説明書やマニュアルはすべてこのUSBメモリに収録されています。お使いのパソコンのUSBに挿入し、コピーしてご利用ください。

収録ファイルの説明および一覧表

- (01) : 「SH型貫入試験 技術・調査基準 同解説」は、SH型貫入試験の技術・調査について、基本となる技術の全てについて説明されている文書です。
- (02) : 現場でSH貫入試験全体の操作概要を知るために、A3版両面の「**現場用ハンディ版取扱説明書**」としてまとめてあります。この資料はデータロガーの収容アルミケース内にも同梱しています。
- (03) : データロガー利用法の詳細を知るためには「**SH型データロガー取扱説明書**」をご覧ください。
- (04～06) は(05)は「SH型現場グラフソフト」の実行ファイルで、Excelでデータの引き抜き、粗グラフのチェックまで簡単にこなすソフトです。(03)の「**SH型データロガー取扱説明書**」にも使い方が書かれていますが、インストール等の事前の条件に関しては(04)をご覧ください。(06)は「SH型現場グラフソフト取扱説明書」です。
- (07) データロガーが記録した測定データをパソコンに引き抜く専用ソフト（実行ファイル）です。
- (05)の「SH型現場グラフソフト」を使えばこの専用ソフトは不要です。専用ソフトはExcelに依存しない保守用ソフトで、必要に応じてご利用下さい。
- (08～09) 「SH型現場グラフソフト」で、グラフ化するための元帳が(08)です。その説明は(09) グラフシート作成マニュアルに示してあります。
- (10) データロガーを上手に利用するには、現場で的確な**野帳**の記録が必要です。**野帳**の記録方法は(02)に示してあります。その記録様式（Excelファイル）が(10)です。
- (11) データロガーとパソコンに接続するため、USBシリアル変換ケーブル使用します。そのケーブルをパソコンに接続する為のドライバーソフトのフォルダです。
- (12) 「SH型現場グラフソフト」で作成した測定データファイルを使って、提出用グラフや記録帳表を作成するソフトです。データのノイズ除去等、データを補正する機能を持ちます。
- 本ソフト名は：「**SHグラフソフト_PRO 全Excelバージョン (V1.0.2)**」
- (13) (12)の取扱説明書です。

ロガーとパソコンを接続するためのドライバーソフトの説明

パソコンにRS232C端子がない場合には付属しているUSBシリアル変換ケーブルを使用します。

Windows7以降であれば、変換器ケーブルをUSBコネクタに挿入して該当するドライバーをインストールしてください。インストール方法は(04)「**SH現場グラフソフトについてのソフト概要**」をご参照ください。

なお、このドライバーの利用法の詳細問い合わせやトラブルについては、当社ジオグリーンテック㈱は責任を負いかねますので、お客様のパソコン環境を考慮してご利用下さい。

SH型ソフトウェア収録 USBメモリファイル一覧表

番号	ファイル名
(01)	SH型貫入試験 技術・調査基準 同解説(2015 09).pdf
(02)	現場用ハンディ版取扱説明書(2023 8版).pdf 現場用のSH型貫入試験機の全般に係る取扱説明書で、A 3 版両面印刷で 1 枚にまとめています。印字したものをデータロガーのキャリアケース内に収容しています。
(03)	SH型データロガー取扱説明書(2023. 8版).pdf データロガーの詳細を記述した取扱説明書です。
(04)	SH現場グラフソフトについてのソフト概要.pdf SH現場グラフソフトをインストールする際の注意等が書かれています。 使用にあたっては、このファイルをご覧ください。
(05)	SH現場グラフソフト64 ビット対応版 (V2.0.1k).xlsm SH型貫入試験で得た測定データを引き抜き、グラフ化して閲覧できるプログラムです。 現場でパソコンを操作し、ロガーが記録したデータをグラフ化してその場でチェックできます。 現場にマイクロソフト社の、Excelが入ったパソコンを持ち込む必要があります。 使用にあたっては、(04)のSH現場グラフソフトについてのソフト概要を読んで下さい。 詳細な取扱については、(02)の現場用ハンディ取扱説明書および(06)のSH現場グラフソフト取扱説明書をご覧ください。
(06)	SH現場グラフソフト取扱説明書.pdf データロガーで記録した測定データを現場でグラフ表示するソフトの取扱説明書です。
(07)	PenetroRead V1.1.exe このプログラムは「SH現場グラフソフト」を利用する場合は使う必要はありません。 ロガーに記録した測定データをパソコンに引き抜く場合やロガーの時刻設定等に使用する専用プログラムです。主にパソコンとロガーの保守時に使用します。
(08)	SHグラフ作成シート元帳(2010v1).xls 引き抜いたデータから提出用のグラフをエクセルで作成するためのエクセルシート元帳です。
(09)	グラフシート作成マニュアル(2010版v1).pdf 引き抜いたデータから提出用のグラフをエクセルで作成するための説明書です。
(10)	野帳様式(2011 05).xls 調査現場にこの野帳を持参し、測定位置や自沈量等を記述し、調査後のグラフ化処理時に記述した数値を入力するために使用します。
(11)	『USBシリアル変換ケーブル』フォルダ ロガーからパソコンのUSB端子経由で測定データを取り込み用のドライバーソフトです。ロガーにはUSBシリアル変換ケーブルを同梱しています。(04)のSH現場グラフソフトについてのソフト概要でドライバのインストール方法を説明してあります。
(12)	SHグラフソフト_Pro 全Excelバージョン(V1.0.2).xlsm SH現場グラフソフトで引き抜いた測定データをTextファイルに変換し、パソコン内に名前を付けて記録します。そのTextファイルを読み込み、Nd/dropグラフやSH型貫入試験記録表を自動生成します。測定データのノイズ補正を自動または手動で調整する機能を持っています。
(13)	SHグラフソフト_Prot取扱説明書(20250817).pdf データロガーで測定したデータから、Nd/drop 図を精度良く迅速に作成できるように改良したソフトの操作方法について説明書です。